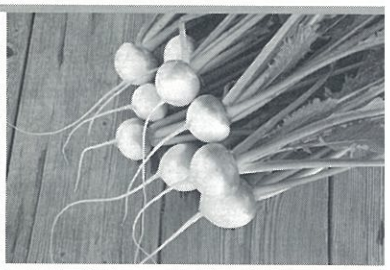
よいち 社協だより

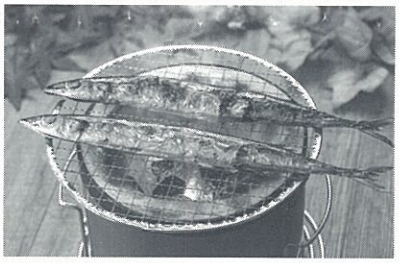
2021 10 月号

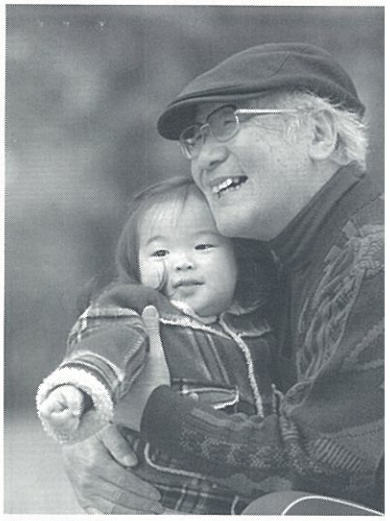
まちづくり情報誌　ーみんなの思いが地域のチカラにー

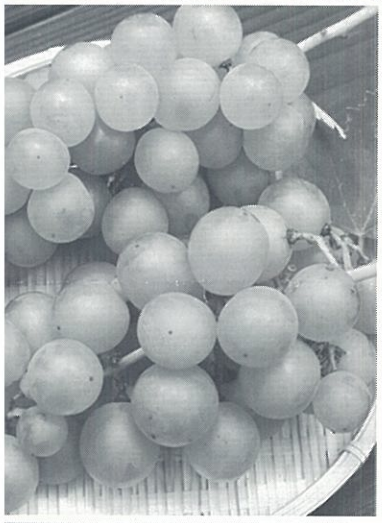
No.96

年４回発行：1･5･7･10月









特集 第28回 **敬老標語入賞作品** P.2

P.3　ことしの敬老標語・講評
第45回 感謝のハガキ送付事業
P.4･5　赤い羽根共同募金
P.6　認知症カフェ事業始めます
P.7　令和４年度助成事業の公募について
P.8　ふれあいフォトコンテスト作品募集
インフォメーション

発行 社会福祉法人余市町社会福祉協議会
〒046-0011 北海道余市郡余市町入舟町400番地
☎(0135)22-3156　FAX(0135)23-3664
http://yoichi-shakyo.or.jp/

この広報誌は、社協会費・共同募金助成金・広告料の一部を活用しています。

祝 敬老の日

第28回 敬老標語入賞作品決定!!

毎年9月の「敬老の日」にちなみ、多年にわたり社会に尽してきたお年寄りへの感謝の気持ちから実施してまいりました敬老標語の募集も今年度で28回を迎えました。今回も、各小・中学校より多数の応募があり、審査の結果入選作品が次のとおり決定いたしました。

（8月20日審査）

余市町長賞（最優秀賞）

おばあちゃん　いつも笑顔は　二十才だね
大川小学校6年　木村　萌々彩

頬そめて　喉まできてる　感謝の言葉
東中学校2年　三間　夕里亜

余市町教育長賞（優秀賞）

おじいちゃん　コロナになんか　まけないで
登小学校5年　杉本　瑠衣

帰り道　笑顔でおかえり　ありがとう
東中学校3年　露木　結愛

余市町校長会会長賞（優秀賞）

おばあちゃん　宝石みたいな　笑顔だよ
沢町小学校5年　吉崎　武琉

いくつでも　手をさし伸べるよ　私たち
東中学校3年　水田　小晴

余市町老人クラブ連合会会長賞（優秀賞）

いつまでも　たくさんの笑顔で　暮らしてね
沢町小学校6年　渡部　結花

いつまでも　元気仲良く　きずな深く
西中学校1年　大村　莉奈

余市町地域子ども会育成連絡協議会会長賞（優秀賞）

祖父祖母の　思い出全て　宝物
登小学校6年　村上　仁皐

代々と　祖父母の話　うけついで
東中学校1年　川端　真央

余市町民生委員協議会会長賞（優秀賞）

孫うれし　笑顔と健康　いつまでも
大川小学校6年　本間　心結

私の祖母は　第二の母
東中学校2年　片石　碧

北海道新聞社余市支局長賞（優秀賞）

祖母の味　ほっこりいい味　夢のよう
登小学校6年　村井　鼓太郎

ばばの背中　大きくて丸い　優しい背中
東中学校1年　中村　瑠那

余市町社会福祉協議会会長賞（優秀賞）

おばあちゃん　こしがまっすぐ　わかいかも
登小学校4年　森　楓

まるまった　背中に多くの　思い出達
西中学校3年　本間　歩花

新会員募集中！

シルバー人材センターは

高齢者にふさわしい仕事を事業所・一般家庭・行政機関等から引き受け会員に提供します。

仕事の発注はぜひ！
シルバー人材センターへ
責任をもって仕事をします

●お申し込み・お問い合せは●　余市町黒川町５丁目22番地
TEL. 22-7641　FAX. 22-7642
http://www.yoichi-sc.or.jp/

高齢者の知識・経験を生かして働ける
公益社団法人 余市町シルバー人材センター

第28回 敬老標語審査委員長・講評

余市町校長会会長
石山慎人氏
(旭中学校長)

余市町社会福祉協議会では、町内の児童生徒が、標語づくりを通じて高齢者福祉について関心をもち、理解を深めることを目的として毎年、敬老標語募集事業を推進しています。今回で二十八回目となりました。

今年も伝統ある敬老標語募集に多数の児童生徒のみなさんからの作品応募があり、大変うれしく思います。どの作品からも児童生徒のみなさんが、お年寄りとのふれあいを通して、お年寄りを敬い、健康を気づかう気持ちや自分のおじいちゃん・おばあちゃんに対しての日頃の感謝や長寿への願いが伝わってきます。余市町の児童生徒が、お年寄りへのいたわりや感謝の気持ちにあふれた子どもに育っていることが標語作品から感じられ、大変頼もしく思います。

小学生のみなさんの標語作品からは、おじいちゃん・おばあちゃんには、いつまでも元気で長生きしてほしいという気持ちがあふれてきます。お年寄りの長寿を願う気持ちやふれあいの中で、気付いたり、考えたりしたことを素直に表現しており、どの作品からもお年寄りを敬う気持ちが伝わってきます。

また、中学生のみなさんの作品からは、祖父母の自分に対する深い愛情への感謝とともに、祖父母の何気ない日常の仕草を見事に捉えて祖父母への敬愛を表現するなど、どの作品からもお年寄りに優しく寄り添う気持ちが伝わってきます。

今、世の中は、コロナ禍にあって、人と人とのつながりが制限され、お年寄りとふれあう機会もおのずから減少しています。

このような時だからこそ、児童生徒が、この敬老標語募集事業を通して、自分と高齢者とのつながりについて考える機会はとても大切であり、この事業は、このような時だからこそ、たいへん有意義なものといえます。余市町の児童生徒には、これからも、こうした機会を通して、高齢者に対する思いやりの気持ちを深めてほしいと思います。

結びになりますが、子どもたちの標語作品応募にお力添えをいただいた町内各小・中学校の先生方、並びに、標語作品審査にご協力いただきました町内関係各位に対し深く感謝を申し上げ、講評といたします。

最優秀賞(余市町長賞)

おばあちゃん いつも笑顔は 二十才(はたち)だね

小学校の部
大川小学校6年　**木村萌々彩(ももあ)**さんと
担任の佐々木教諭と轟木校長(右)

頬そめて 喉まできてる 感謝の言葉

中学校の部
東中学校2年　**三間夕里亜(ゆりあ)**さんと
籔校長と担任の竹村教諭(右)

第45回 敬老の日・感謝のハガキ送付事業

77歳以上の高齢者3,396名（2,792世帯）の方へ、
長寿をお祝いする感謝のハガキが届けられました。

今年も“敬老の日「感謝のハガキ」を送る事業”が町内の小中学校７校の児童・生徒の協力を得て実施されました。毎年９月の「敬老の日」にちなみ、余市町地域子ども会育成連絡協議会が各学校へ依頼し取り組んでいます。

【主催】余市町地域子ども会育成連絡協議会
事務局：余市町青少年対策室(中央公民館内)
【共催】余市町社会福祉協議会

※この事業は、多くの皆様から寄せられた赤い羽根共同募金からの助成を受けて実施しています。

運動期間 10月1日▼12月末日

赤い羽根共同募金 今年もご協力お願いします

令和3年度目標額 2,400,000円

募金を集めるのにも理由があります。それが計画募金です。

赤い羽根共同募金の目標額

「赤い羽根共同募金」は、事前に地域内の社会福祉施設や社会福祉団体、ＮＰＯやボランティア・市民団体などの各種活動に必要とされる資金ニーズを勘案し、使いみちの計画を立ててから募金活動を行う「計画募金」です。共同募金は「各地域で様々な福祉活動を行うために最小限度必要な額」を基に、あらかじめ“使いみちの計画”を立てることが義務付けられていることから、計画に必要な総額が「全道で今年は最低これだけの資金が必要」ということになり、これが「目標≦寄付期待額（目安額）」になります。

3～5月

助成計画と目標を立てる

助成計画をたて、要望を実現するために必要な金額を「目標額」として決め、募金活動の準備に取りかかります。

10月1日

募金活動が一斉にスタート

全国各地で10月１日から赤い羽根募金、12月１日から歳末たすけあい募金運動が始まります。

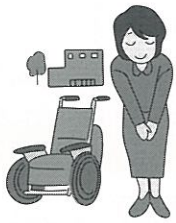
翌年度に向けて

福祉団体から申請を募集

社会福祉施設や団体、ボランティアなどから、助成が必要な福祉活動の申請を募集し、配分委員会等により申請内容を調査、検討します。

翌年4月

集計後募金は助成先へ



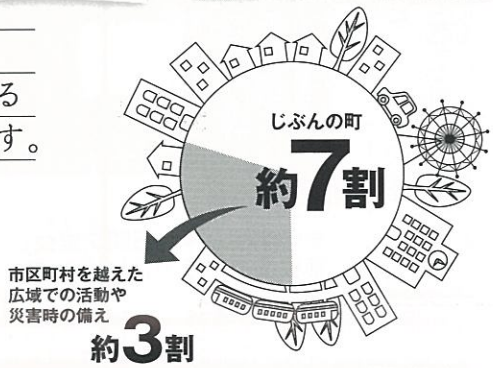
寄付金額を勘案し、助成先と助成金額を決定します。４月に助成金が交付され、道内の福祉活動に使われます。

ご協力いただいた募金の使いみち

皆様から寄せられた募金は、高齢者、障害者、子ども達などへ地域の福祉活動を支援するために役立てられています。また災害発生時には、募金の一部を災害等準備金として、被災地での災害ボランティアセンターの開設・運営などにも役立てられています。

募金の約７割は、あなたの町を良くするために使われています。

誰かのためにと思って
募金をしたら、
自分たちの町のための、
募金でもありました。
町のみんなで集めた募金は、
じぶんの町を良くする
活動に使われています。



ありがとうメッセージ

共同募金は、たくさんの道民の方々のやさしさによって支えられています。令和２年度に皆様からお寄せいただいた募金の中から、今回助成を受けられた団体より、感謝の気持ちをご紹介します。

NPO法人 しりべし地域サポートセンター「コミュニティ茶屋」　余市町入舟町462-2

機器整備事業 －業務用卓上ミキサー購入（１台）－

このたびは、赤い羽根共同募金寄付金で“業務用卓上ハンドミキサー”を助成していただきありがとうございました。私どもコミュニティ茶屋は、障がいのある方の働く支援として、ドーナツなどの焼き菓子･パン･コロッケ等の食品の製造販売、喫茶店neccoの営業、企業からの下請け作業、町内にある施設の清掃作業の請負、羊毛作品の製作などを行っております。また、日中活動の支援として、生活介護事業を行っております。

ご利用者様の工賃アップを目指すため、製造量を増やすことと、作業効率の向上が課題となっていました。しかし、今回の助成金により、高性能卓上ミキサーを導入することができ、これまで以上に製造量と作業効率を上げることができました。これからも大切に使わせていただき、障がいのある方の働くことへのサポートを充実させていきたいと思います。そして、機器導入の成果として繋げられるよう、今後は営業活動の強化にも取り組んでいきたいと思います。**本当にありがとうございました。**

（令和２年度助成決定）

募金は、
未来へつづく。

令和2年度 共同募金運動結果報告（余市町）

令和２年度も余市町内の皆さまからの
あたたかいご支援の気持ちと、たくさんの募金が寄せられました。

ご協力ありがとうございました

第74回 赤い羽根共同募金運動

【取扱い期間】 令和２年10月１日 ▶令和２年12月31日

令和２年度共同募金総額　3,482,728円

赤い羽根共同募金　2,096,989円
歳末たすけあい募金　1,385,739円

共同募金運動は、戦後間もない昭和22年（1947年）に「国民たすけあい運動」として始まりました。

「困ったときはお互いさま」の気持ちから、第１回目の共同募金運動ではおよそ６億円の寄付金が寄せられました。現在の貨幣価値にすると、1,200億円に相当するといわれています。

現在では、「社会福祉法」に定められた地域福祉の推進を目的に、さまざまな地域の課題に取り組む民間団体を支援する「自分の町を良くするしくみ。」として、地域のさまざまな福祉活動を支援しています。

今年もご協力よろしくお願いいたします。

令和２年度共同募金結果

募金区分	実績額
① 戸別募金	1,887,586円
② 法人募金	61,000円
③ 学校募金	70,936円
④ そ の 他	77,467円
合　計	2,096,989円

皆さまから寄せられた募金のうち、**102万3,989円**は「余市町社会福祉協議会」を通じ、次のとおり令和３年度に於いて、様々な地域福祉活動推進のため有効に活用されます。

令和３年度余市町社会福祉協議会／地域福祉事業（共募助成分）

事　業　区　分	予算額	%
・高齢者福祉のために	89,000円	8.7%
・障害者（児）のために	40,000円	3.9%
・児童・青少年福祉のために	42,000円	4.1%
・ボランティアの育成・活動支援のために	342,000円	33.4%
・地域福祉活動のために	510,989円	49.9%
合　計	1,023,989円	

令和２年度歳末たすけあい募金結果

【運動期間】 12月１日▶12月31日

募金総額 1,385,739円

集められた募金は、一旦「北海道共同募金会」で集約され、翌年度、計画に基づき必要な金額を申請の上、余市町共同募金委員会へ助成されます。

令和２年度の助成内訳

・歳末見舞金の贈呈	360,000円
・地域福祉サービス基盤整備事業	129,653円
・社会福祉団体、NPO法人などへの支援	660,000円
・歳末たすけあい運動にかかる経費	79,946円
合　計	1,229,599円

おかげさまで70周年

70th

余市町共同募金委員会
余市町入舟町400番地
TEL 22-3156
FAX 23-3664

～余市町認知症カフェ運営事業～

認知症にやさしいまちづくり

“あずましい余市カフェ”

始めます。

人が集まってくつろげる、安心してゆっくり話ができる場所

このたび「よいち社協」では、認知症の人とその介護するご家族、地域住民、医療・介護の専門職の人などが自由に集い、交流したり、情報交換することを目的に、行政や関係機関・団体等と連携して、新たに取り組むこととなりました。

本年度開催に向け、現在準備中ですので、日程が決まり次第お知らせします。

スタッフ（ボランティア）を募集しています。

一緒にお手伝いいただける“元気な高齢ボランティアさん”を募集しています。認知症に関心がある方、介護経験者など男女問わず募集します。ぜひ、皆さんの「力」と「経験」を地域の中で活かしませんか。「認知症サポーター養成講座」を受講された方、大歓迎です！

【活動の内容】※会員登録制

「あずましい余市カフェ」開催時、参加者と一緒におしゃべりしたり、交流していただきます。
（会場準備・後片付け等も含む。）年２～３回程度、１回当り２時間程度の活動です。

申込先 よいち社協　☎22-3156　●お気軽にお問い合せ下さい。

協力団体 余市町地域包括支援センター／余市町在宅介護支援センター／余市町認知症の人を支える家族の会

【実施主体】 余市町（民生部保険課）　☎21-2119

【事業運営主体】 社会福祉法人余市町社会福祉協議会　☎22-3156

年中無休 24時間営業

もしものとき安心と信頼の全国ネット
if共済会取扱加盟店

●経済産業大臣認可 全国葬祭業協同組合連合会
●国土交通大臣認可 全国霊柩自動車協会 加盟店

厚生労働省認定葬祭ディレクター
技能審査１級葬祭ディレクター が対応します。

一葬儀全般お手伝い承ります一（受付・司会・会計）

㈲余市葬祭社
中道造花店
☎22-3254
余市町黒川町12-83-4（本社）
FAX 23-4241

各宗派御葬儀式場
冷暖房完備・駐車場完備
最大収容人数500名
すずらんホール
余市町黒川町13-10-1 ☎21-4499
最大収容人数150名
さくらホール大川
余市町大川町3-79 ☎48-9494

令和4年度

地域福祉活動助成事業のご案内

公募による応募団体募集のお知らせ

よいち社協では、町民の皆さまからお預かりした社協会費や寄付金、共同募金からの助成金等、貴重な浄財を主な財源として、余市町内で活動するボランティアグループや福祉団体に対し助成を行い、活動の支援を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的に事業を実施しています。

このたび、少子高齢化や人口減少など多様化する社会情勢の変化等を踏まえ、助成事業全般にわたり見直しを行い、令和４年度より「公募」による助成事業へと改めることとなりました。

つきましては、令和４年度応募団体を募集いたしますので、次の応募要領をご参照のうえ期日までに申請して下さい。

応募要領（概要）

❶対象団体の要件	余市町内で１年以上活動しているボランティア団体等で、次の要件をすべて満たしていること。 ・構成人員が５名以上で代表者・会計責任者を定めていること。 ・法人格を有する団体でないこと。（ＮＰＯ法人は除く） ・宗教、政治、営利活動を目的とする団体でないこと。
❷対象事業（活動）	高齢者、障害者、児童等の福祉の向上を目的とした自主的・積極的な活動に資する事業。
❸助成金額	１団体１事業費とし３万円を上限に、審査会で決定します。
❹申請書類	・申請書（様式第１号） ・令和４年度事業計画書、予算書（様式第１号別紙） ・令和３年度事業報告書、決算報告書（何れも見込み） ・役員、会員名簿、会則又は規則等 ※応募要領・申請書の様式は、本会ホームページからダウンロードできます。なお、直接本会へお申し出頂いても結構です。 http：//yoichi-shakyo.or.jp/
❺提出締切	令和３年11月25日（木）必着
提出先・問合せ先	**余市町社会福祉協議会** 〒046-0011 余市町入舟町400番地　☎22－3156

印刷

●川柳・俳句・短歌集　記録研究／記念誌等
企画－印刷－製本－発行　あらゆる印刷の相談は…

〒046-0004 北海道余市町大川町14丁目14番地
OOHASHI PRINTING
株式会社 おおはし
TEL(代)0135-23-4591/FAX 0135-22-3600
●mail:oo84@cocoa.ocn.ne.jp

2021 ふれあいフォトコンテスト 作品募集！

【応募締切】10/29（金）※当日消印有効

今年は「えがお」をテーマに、家族との絆や子育てを支え合う様子、お年寄りの生き生きとした姿や生活の様子など、思い思いに「えがお」をイメージした写真を募集します。心に残るドラマチックな作品をお待ちしています。

【募集要項】

- テ ー マ／「えがお」
- 被 写 体／家族、子供、高齢者 ※被写体となっている人に必ず応募の承諾を得て下さい。
- 作品規格／応募者本人が撮影（過去１年以内）した未発表の作品。
  カラープリントでサイズは２Ｌ版(127㎜×178㎜)に限る。
  撮影画像の加工・合成等の修正した写真は不可。
  トリミングは可。写真に日付が入らない様にして下さい。
- 応募資格／余市町在住又は在勤の18歳以上の方
- 応 募 先／〒046-0011 余市町入舟町400番地　余市町社会福祉協議会内
  「ふれあいフォトコンテスト」係　☎22-3156
- 入　　賞／ふれあい大賞【最優秀賞】１名様：１万円商品券・記念品
  ドラマチック賞【優 秀 賞】２名様：５千円商品券・記念品
  審査員特別賞【入　　賞】２名様：３千円商品券・記念品
- 入選発表／11月をめどに審査し入賞者へ通知します。

※詳細については、町内公共施設に備え付けのチラシをご覧下さい。
本会ホームページからもダウンロードできます。http://yoichi-shakyo.or.jp/

【主催】社会福祉法人余市町社会福祉協議会　【共催】子育てサポートセンター

ご寄付いただき ありがとうございました

令和3年6月～9月

皆様のご寄付は福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

- 戸井会計事務所　取締役社長　安部 正昭 様（小樽市）　30,000円
- ニッカウヰスキー株式会社 様　94,055円
- ㈱北海道ニッカサービス 様　14,924円
  （社会貢献活動の一環 / エコマイレージ活動）

お知らせ

オムツ等支給事業について

在宅生活で、常時オムツ等を使用している高齢者（認知症含）を介護しているご家族の身体的、経済的負担の軽減を図ることを目的に、平成７年度より町受託事業として実施して参りましたが、令和３年度より町から事業費の一部補助を受け、自主事業へと変更・継続しております。対象要件等、詳細はよいち社協までお問合せ下さい。

余市町社会福祉協議会
☎22−3156